

広報

ひらかた11

No.1299

令和3年
(2021年)

月号



「心とむ、名護」
(詳細は45ページ)

- 2 新型コロナ
ワクチン接種を希望する人はお早めに
- 6 枚方市×名護市 友好都市紙面交換企画
- 10 職員給与・人事行政の運営状況
- 12 中学校給食3つの新サービス始まる

無料アプリ / FREE APP



カタログ ポケット
Catalog Pocket

広報ひらかたが10言語で読める!聞ける!
You can read "Hirakata city News" in 10
languages by the application.

■ iOS 版



■ Android 版



市公式フェイスブック
「マイカタちゃいます、ひらかたです。」



市公式ツイッター
「こちら、枚方市です!」



市公式インスタグラム
「i_am_in_hirakata」



市公式LINE
「枚方市」

はいさい、名護市やいびーん！

枚方市の皆さん、はじめまして。沖縄県名護市です。

枚方市から南に117.1km、伊丹空港から飛行機でおよそ2時間ちよつとの距離に浮かぶ沖縄本島北部には、「やんばる」と呼ばれる自然豊かなエリアがあります。今年7月には、このエリアが世界自然遺産に登録され、ニュースなどでご存じの方も多いのではないのでしょうか。

私たち名護市は、その「やんばる」への玄関口と呼ばれ、沖縄本島北部の中核都市として発展を続けています。

平成9年7月31日、名護市と枚方市は友好都市となりました。今回は「広報ひらかた」の4ページを拝借し、枚方市の皆さんに、名護市の魅力をたっぷりお届けしたいと思います。

(コロナが終わったら)
名護にめんそーりよー♡



☎沖縄県名護市 企画政策課広報係
☎0980-53-1212 (内線335) ☎0980-53-6210
◀名護市ホームページ



枚方市×名護市 菊がつないだ縁

私たち名護市と枚方市が友好都市締結を結んでから、もうじき25年目を迎えるとしています。私たちは長い友情の歴史の中で、イベントをととした交流や市民間の交流により、その絆を深めてきました。ことの始まりは、今から33年前、昭和63年にさかのぼります。昭和、平成、そして令和——。これからも末永く続いていく私たちの歴史の最初の1ページを、少しでも振り返ってみましょう。



「菊」から始まる歴史

今からさかのぼること33年前、昭和63年に、名護市で第1回名護菊人形展「独眼竜政宗」が開催されました。明治43年に始まり、当時80年の菊人形の歴史を持つ枚方市から技術指導を受け、実現した企画でした。

それ以来、人形の借用や技術指導を受けるため、名護市の観光協会などの関係者が枚方市を来訪し、枚方市からも名護さくら祭りなどの視察に関係者が訪れるようになるなど、毎年交流が続けてきました。そして7月31日の枚方市の市制施行50周年の記念日と日を同じくして、私たちは友好都市締結を宣言したのです。

その後も名護市のさくら祭りや枚方市の友好・交流都市物産展などのイベントの他、東海大学付属大阪仰星高等学校と名護高等学校のラグビー部による交流など、私たちは今まで友好の絆を紡いできました。コロナ禍で交流が制限される中でも、この33年の友好を未来へつないでいきたいと思います。



名護市広報「市民のひろば」11月号では、枚方市の記事を4ページ掲載しています！

01

ていーち。

面積は沖縄本島一



名護市の面積は210.90 km²で、なんと枚方市の3倍以上!しかし人口は枚方市の1/5以下です。名護って意外と広いんです。

02

たーち。

2000年サミットの会場に



2000年7月に開催された九州・沖縄サミットでは、当時のG8首脳とEU委員長が名護市に集い、21世紀にむけたメッセージを世界へ発信しました。

知って
ください

名護市の

ありんくりん

(あれこれ)



03

みーち。

あの人はナグエンチュ (名護人)



女優の黒木メイサさんやプロゴルファーの諸見里しのぶさんは名護市出身。東京オリンピック2020レスリングで銅メダルを獲得した屋比久翔平選手も名護生まれです。

04

ゆーち。

市役所が観光スポット!?



名護市役所庁舎は象設計集団とアトリエ・モビルによって設計され、1981年に日本建築学会賞作品賞を受賞しました。建築マニア垂涎のこの庁舎には、たくさんの人が写真を撮りに訪れます。

05

いちち。

世界のウチナーンチュの日!?



2016年10月30日に制定された「世界のウチナーンチュの日」は、名護に住む沖縄県系3世の青年2人が提案しました。毎年世界中のウチナーンチュ(沖縄人)と沖縄を愛する人がみんなと一緒に祝いする日です。

ステイケーションで名護を満喫。

旅行に行くのは難しい…でも旅行気分を味わいたい。

そんなあなたをステイケーションにご招待。

ふるさと納税で名護の特産品をGETして、自宅で名護を満喫してみませんか?



ふるさと納税について
はこちらから
『ふるさとチョイス』





自然と戯れるべし 01

沖縄と言えば、白い砂浜に青い海！でもそれだけじゃないんです。山に行けば亜熱帯の植物が生い茂り、川に行けば清らかな水が流れ、大人も童心に帰る。時が経つのを忘れ、いつまでも見ていられる、美しい青い海。名護は山も川も海も、全てが美しいんです。



▲市民憩いの「21世紀の森ビーチ」／A

▼昔ながらの風情が残るフクギ並木。／C



◀県内でも人気の源河川。／B

100%

名護を楽しむ5のオキテ。

02

魅惑の オキナワンフード を食すべし

みんな大好き沖縄そば！沖縄に来たらコレでしょう。でも知ってました？今や県内全域で食べられるソーキそばですが、その発祥は名護市の「我部祖河食堂」。あまじょっぱく煮付けたソーキ(スベアリブ)にカツオが香るおだしがベストマッチ！ツウなあなたにはヒージャー(ヤギ)汁もおすすめ。おっと。定番のチャンプルーに、あつ〜い季節にタマラナイ、ぜんざいも忘れるべからず！



※写真は「ミルクぜんざい」です。

▲我部祖河食堂の看板メニュー「元祖・ソーキそば」／D

◀意外にクセになるヒージャー汁(左／E)と食後のデザートにおきなわけんざい(右)はいかが？／F

03 買うべし！買うべし！買うべし！

人気のやちむんや幻のアグー肉、島野菜に色とりどりのオキナワンフルーツはいかが？自宅用に、お土産に。よろこばれること間違いなし。



やちむん(焼き物)や3年連続で国産茶葉のグランプリに輝いた金川製茶の茶葉、昔ながらの製法でいねいにつくられた屋我地島の塩はセレクトショップなどで手に入ります。／H



JAファーマーズなら旬の島野菜からトロピカルフルーツ、人気の海ぶどうまで取りそろえる。もちろん、その場で県外発送も。／G

PLACE / SHOP LIST

※営業時間などが変更されている場合があります。

A 21世紀の森ビーチ
沖縄県名護市宮里2-2

B 源河川
沖縄県名護市源河305

C 屋部のフクギ並木
沖縄県名護市屋部175近辺

D 我部祖河食堂本店
沖縄県名護市我部祖河177
☎0980-52-2888
10:00～16:00 月曜定休

E 名護曲レストラン
沖縄県名護市世富慶574
☎0980-53-5498
11:00～17:00(土日は～20:00)
木曜定休

F ひがし食堂
沖縄県名護市大東2-7-1
☎0980-53-4084
11:00～18:30
不定休(旧盆・年末年始休み)

**G JAファーマーズ
マーケットやんばる**
沖縄県名護市宮里4-6-37
☎0980-50-9885
9:00～18:00
第3水曜定休、旧盆・年始休み

H NAGO GROCERY STORE
沖縄県名護市城1-4-11
名護市営市場2F
☎0980-43-6910
10:30～18:30 不定休

I 名護市観光協会
沖縄県名護市大中1-19-24
産業支援センター1F
☎0980-53-7755
8:30～17:30

J ひんぷんガジュマル
沖縄県名護市大東1-1

K 嘉陽層の褶曲
沖縄県名護市天仁屋



お得な
7515(ナゴイコ)
キャンペーン実施中!
詳しくはHPを
見てね～



▲詳細はコチラ!

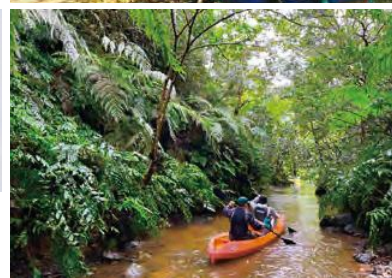
04

沖縄アクティビティで 心をデトックスすべし

アクティブ派のあなたは、SUPする? カヤックする? 名護では海でも川でもどちらも楽しめます。海ならここは楽園ベイバー、やんばるの森に囲まれた川を下れば気分はジャングルクルーズ! ...かもしれない。もちろん、自分だけのオリジナル琉球ガラスをつくれる工房もたくさんあります。旅の記念におひとついかが?



ネイチャーツアーやカヤック、ガラス体験など、何をするか迷っちゃうあなたはアクティビティを網羅する名護市観光協会へ問い合わせを。/I



沖縄の夏の風物詩、エイサー(上)と県指定無形民俗文化財「屋部の八月踊り(下)」。太鼓と三線の音につられてみんな家から出てきます。



◀推定樹齢300年の「ひんぷんガジュマル」は名護市のシンボル。/J

▶地層がはっきりと見える嘉陽層の褶曲は国指定の天然記念物。ダイナミック! /K

05

歴史と文化に触れるべし

かつて琉球と呼ばれていたころから続く沖縄独自の文化は、現在に至るまで脈々と受け継がれ、その歴史を感じさせる文化財は市の至る所に残る。名護市の天然記念物、文化財に触れて、沖縄の歴史と文化を感じるべし! 太鼓と三線の音が鳴り響けば、あなたも踊らずにはいられなくな～。





市民 登場

No.738

(一社)日本エコラップ協会 代表理事

谷口 志保 さん

◆たにぐち しほ 洗って繰り返し使え脱プラ商品として注目を集める食品用エコラップ「みつろうラップ」を販売。子どもの発育などを中心にカウンセリング業を行うエシカルカウンセラー。北中振在住。45歳。

ミツバチの巣から得られる蜜蝋を布に染み込ませて作ったみつろうラップ。本格的に販売を始めたのは昨年2月から。熱には弱いものの、脱プラ、SDGsの時代にマッチし、使い捨てでなく環境にやさしい商品として百貨店などから出店依頼が相次ぎ、約3000枚を売り上げている。こだわりは国内の養蜂園から取り寄せた蜜蝋とオーガニックコットンを使っていること。蜜蝋にココナッツオイルや天然樹脂の配合する量を調節して密着と持続性のバランスをとるなど試行錯誤を重ねて「安全安心な素材を使い胸を張って届けられるものを作れました」。

きっかけは3年前、旅先のバリ島で目にした可愛いデザインのエコラップ。現地では日本より一足早くプラスチック製品の規制があったが、海岸には多くのプラごみが漂着していた。それまで環境問題に関心はなかったが「自分のできることで子どもたち

に良い環境を残してあげたいと感じました」。これまでは生産から販売まで、ほぼ1人で取り組んできたが、みつろうラップづくりの講師をしてみたいとの声に応えるため10月に日本エコラップ協会を発足させた。今後ラップの生産技術やワークショップの運営方法などを資格として認定する。「一人で広めるには限界がある。全国に講師を増やしてエコラップを広めたい」と意気込む。

活動の原動力は、これからを生きる子どもたち。子育てをしながら通信制大学で資格を取得して始めた本業のカウンセリング業では子どもの発育分野を中心に気軽に相談できる場を作りたいと開業した今もなお大学病院の研究サポートをしながら学び続けている。「小さくてもできる範囲で、良いことを積み重ねていきたい」というエシカル（道徳的）な想いが会社の屋号に込められている。



特別編

「心和む、名護」(関連6～9ページ)

はいさい! 名護市です。今月号の表紙は、名護市にある21世紀の森ビーチで撮影しました。市街地にありながら、のんびりリラックスできる静かなビーチです。赤瓦の東屋が沖縄らしいですね。枚方市民の皆さんが遊びに来てくれるのを楽しみにお待ちしております! めんそーりよー♡



表紙の写真募集!

枚方の魅力を再発見できる風景写真を大募集。街中もOK。▶応募 電子メールに住所・氏名(ペンネーム希望の場合はペンネームも)・年齢・電話番号・電子メールアドレス、写真の説明を書いて写真データを添付し広報プロモーション課(✉kouhou@city.hirakata.osaka.jp)へ。

※応募作品は市公式のフェイスブックやインスタグラムで公開します。